

**平成18年度調査研究事業報告書**

**公民館等職員の職務及び研修状況  
に関する実態調査**

**平成19年3月**

**島根県立生涯学習推進センター  
島根県立西部生涯学習推進センター**

## はじめに

県内に333館（平成18年1月現在）ある公民館（コミュニティセンター含む）は、地域の生涯学習推進の拠点施設として、その役割がますます重要視されてきています。また、そこに勤務する公民館主事等の職員は、社会教育の専門的職員として、「生涯学習によるまちづくり・ひとづくり」を進める中心的な役割を担っているといえます。

島根県立生涯学習推進センター・西部生涯学習推進センター（以後両推進センター）では、平成7年（西部センターにあっては平成12年）の開所以来、担当者・指導者研修を担う専門機関として公民館主事等の職員を主たる対象とした生涯学習担当者・指導者研修を行ってきました。平成14年度には、島根大学との連携のもと、生涯学習担当者・指導者としての公民館主事等の職員に必要な資質・技能を明らかにするとともに、3カ年の研修を体系化し、平成15年度から17年度に「生涯学習基礎講座」を実施しました。この3カ年にわたる研修は、生涯学習担当者・指導者にとって、基礎的な理解を図るとともに、実践に活かすことができる効果的な研修として、高く評価され、地域での生涯学習推進に貢献できたと確信しています。

しかし、市町村合併等の社会情勢の変化とともに、3カ年という長期間にわたる研修には継続して参加しにくいという状況等から、研修のあり方を見直すこととしました。また、平成17年度に実施した「公民館等の活動に関する調査」によると「2日間の研修には参加しづらいこと」「一カ所に集まっての研修には出かけにくいこと」「生涯学習や社会教育に関する基礎的な知識を深めると共に、実践的な研修内容を望むこと」等が明らかとなりました。

そこで、平成18年度からは、より受講しやすい日程、実践に結びつく内容を意識した研修を構築し、「生涯学習講座①②③」として実施しているところです。一方で、生涯学習担当者・指導者研修については、地域の実態、生涯学習担当者・指導者のニーズ等を踏まえ、さらに充実したものにしていく必要があります。

こうしたことから、生涯学習担当者の中核である公民館主事等の職務・研修状況について調査し、効果的な生涯学習担当者・指導者研修のあり方に資するための基礎資料とすることを目的として、「公民館主事等の職務・研修状況についての実態調査」を実施しました。

この調査が、生涯学習担当者・指導者の研修のあり方についての一助となり、また、公民館関係者等の皆様にも今後の研修に関わる情報として活用されますことを期待しています。

最後になりましたが、調査票作成及び調査結果の分析等へのご指導・ご助言をいただきました島根大学生涯学習教育研究センター仲野寛教授に対し、厚くお礼申し上げます。

平成19年3月

島根県立生涯学習推進センター  
所長 橋本辰生